

1. ディプロマ・ポリシー

ディプロマ・ポリシー	
DP1	専攻分野において研究者として自立し、研究活動に必要な高度の研究能力と併せて、社会の多様な方面で活躍できる高度の能力と豊かな学識を修得し、活用することができる。
DP2	国内外の教育研究機関で教育・研究活動が展開できる力を修得し、高度専門職業人として、研究成果をグローバル社会の発展に活かすことができる。

2. アセスメント・ポリシー

#	アセスメント項目	アセスメント・プラン	対応するDP										責任主体	備考	
			DP1	DP2											
共通基礎アセスメント項目															
1	入学試験	入学定員充足率及び収容定員充足率によりアセスメントを行う。	○	○										研究科長及び自己点検評価委員	学部事務室（研究科担当）及び教務委員が支援する
2	GPA	GPA分布によりアセスメントを行う。	○	○										研究科長及び自己点検評価委員	学部事務室（研究科担当）及び教務委員が支援する
3	成績評価	成績分布及び単位修得率によりアセスメントを行う。	○	○										研究科長及び自己点検評価委員	学部事務室（研究科担当）及び教務委員が支援する
4	履修状況	履修登録率によりアセスメントを行う。	○	○										研究科長及び自己点検評価委員	学部事務室（研究科担当）及び教務委員が支援する
5	在学生調査	在学生意識調査の調査回答率及び各設問の肯定回答率によりアセスメントを行う。	○	○										研究科長及び自己点検評価委員	学部事務室（研究科担当）及び教務委員が支援する
6	海外プログラム/インターシップ/プロジェクト/ボランティア/学会/課外活動等	各海外プログラム/インターシップ/プロジェクト/ボランティア/学会/課外活動等の参加者及び成果によりアセスメントを行う。	○	○										研究科長及び自己点検評価委員	学部事務室（研究科担当）及び教務委員が支援する
7	地域活動	各地域活動等の参加者及び成果によりアセスメントを行う。	○	○										研究科長及び自己点検評価委員	学部事務室（研究科担当）及び教務委員が支援する
8	退学率/休学率	退学率及び休学率によりアセスメントを行う。	○	○										研究科長及び自己点検評価委員	学部事務室（研究科担当）及び教務委員が支援する
9	検定/資格（外部語学検定試験含む）等	各種検定・資格の受験条件充足率、受験率、合格率等によりアセスメントを行う。	○	○										研究科長及び自己点検評価委員	学部事務室（研究科担当）及び教務委員が支援する
10	学位授与	学位授与数によりアセスメントを行う。	○	○										研究科長及び自己点検評価委員	学部事務室（研究科担当）及び教務委員が支援する
11	修了後の進路	就職率及び進学率によりアセスメントを行う。	○	○										研究科長及び自己点検評価委員	学部事務室（研究科担当）及び教務委員が支援する
12	修了時調査	修了時調査の調査回答率及び各設問の肯定回答率によりアセスメントを行う。	○	○										研究科長及び自己点検評価委員	学部事務室（研究科担当）及び教務委員が支援する
論文作成過程アセスメント項目															
13	研究計画書	研究計画書の提出率によりアセスメントを行う。	○	○										研究科長及び自己点検評価委員	当該院生の主査・副査、審査委員会、学部事務室（研究科担当）及び教務委員が支援する
14	資格試験（Qualifying Examination）	審査委員会が資格試験（筆記試験、口答試験、外国語試験、論文作成計画書）の審査結果を研究科長に報告し、研究科委員会にて可否を決定する。資格試験の合格率によりアセスメントを行う。	○	○										研究科長及び自己点検評価委員	当該院生の主査・副査、審査委員会、学部事務室（研究科担当）及び教務委員が支援する
15	論文作成計画審査（Prospectus）	審査委員会が論文作成計画審査（Prospectus）（論文作成計画書、口述試験）の審査結果を研究科長に報告し、研究科委員会にて可否を決定する。論文作成計画審査（Prospectus）の合格率によりアセスメントを行う。	○	○										研究科長及び自己点検評価委員	当該院生の主査・副査、審査委員会、学部事務室（研究科担当）及び教務委員が支援する
16	博士論文審査	博士論文審査の合格率によりアセスメントを行う。	○	○										研究科長及び自己点検評価委員	当該院生の主査・副査、審査委員会、学部事務室（研究科担当）及び教務委員が支援する

## 起業マネジメント専攻博士（課程レベル）新旧DPマッピング表

### ◆新DPと旧DPの比較

新ディプロマ・ポリシー (2022年度入学生から適用)	
DP1	専攻分野において研究者として自立し、研究活動に必要な高度の研究能力と併せて、社会の多様な方面で活躍できる高度の能力と豊かな学識を修得し、活用することができる。
DP2	国内外の教育研究機関で教育・研究活動が展開できる力を修得し、高度専門職業人として、研究成果をグローバル社会の発展に活かすことができる。

旧ディプロマ・ポリシー (2021年度入学生まで適用)	
DP1	専攻分野において研究者として自立し、研究活動をおこなうために必要な高度の研究能力と併せて、社会の多様な方面で活躍し得る高度の能力と豊かな学識を有している。
DP2	高度な専門職業人としての能力、国内外の教育研究機関で教育・研究活動が展開できる力を有している。
DP3	本課程に3年以上在籍し、所定の単位を修得かつ必要な研究指導を受けたうえ、本学学位規程の定める博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

### ◆新DPと旧DPのマッピング

新DP	旧DP										
DP1	<i>DP1</i>										
DP2	<i>DP2</i>										

備考